

## 自分らしい多様な表現を引き出す造形活動をめざして

### ～絵の具で遊んで「自分いろがみ」～

#### 1. 設定理由

自分の思いに合わせて「自己決定」しながら表現活動ができれば、作品に「自分らしさ」が増えていき、完成した作品は紛れもなく世界でたった一つだけの「自分だけの作品」になるだろう。表現活動中の「材料・用具との関わり」を大切にすることはもちろんのこと、自分がどう表現したいのかをじっくりと考える「自分自身との関わり」や、互いに影響を受けながら活動する「友だちとの関わり」を学習の柱としながら、一人ひとりの作品への思いをより一層深めさせていきたい。そして、「自分らしさ」を表すための多様な表現を用いることを通して、生き生きと造形活動にとりくませていきたいと考え、本研究の主題を設定した。

#### 2. 研究仮説

- 様々な用具を使った技法を体験することで、多様な表現が身に付き、思いを表すための表現が深まるだろう。
- 児童どうしの学び合いの場を意図的に設定することで、互いの表現のよさを交流し合い、自分らしい多様な表現を引き出すことができるだろう。

#### 3. 研究内容

- 絵の具で遊んで「自分いろがみ」(4学年)の実践

#### 4. 結 論

- 試す時間を十分に確保し、さまざまな表現技法を体験したことで、多様な表現方法を知り作品に生かすことができた。また、自分なりに用具を加工したり選択したりして表現の幅を広げることができた。
- 活動の見通しがもてるような掲示物を作成して提示したことで、どの児童も意欲を持続させて活動にとりくむことができた。
- 作成した「自分いろがみ」を活用して主人公をつくったり、さらには物語をつくったりする活動も考えられる。次回同題材を行う際は「考えを広げる」活動も取り入れていきたい。
- 額縁を作る際、切り抜く形や大きさを自由に選ぶことができれば、児童の思いや工夫もさらに表現されたと考える。
- 鑑賞の時間を毎時間ごとに設定して見合ったことで、友だちの表現のよさに気付いて用具の使い方を進んで教え合ったり、自分らしい表現を追求したりすることができた。

印旛支部

印西市立西の原小学校

鈴木 純子

印西市立木刈中学校

小林 朋子

### 1 研究主題 『自分らしい多様な表現を引き出す造形活動をめざして』 ～絵の具で遊んで「自分いろがみ」～

#### 2 研究主題について

「どのような手立てをとったら、児童一人ひとりが『自分らしい作品』をつくることができるのだろうか。」という思いは、図画工作科のどの題材を行う時も、常に念頭にあった。

題材との出会いが印象的なものであったり、「やってみたい!」と思える材料を目の前に行ったりすると、児童は間違いなく目を輝かせて活動にとりかかる。そのような表情を見ることができた時が何よりもうれしくて、手立てや仕掛けを工夫することに自分自身も楽しさを感じるようになった。

教材研究の一つとして日頃から行っていることは、「学習で活用できる材料・用具探し」である。例えば、スパッタリングでは歯ブラシと網お玉をセットにしたり、スタンプングでは割れ物を包む際に用いる発泡スチロールや台所用スポンジなどを切ったりして活用した。他にも、割りばしとロープを組み合わせて手作り筆をつくったり、段ボールをハケの代わりに活用したりして学習に取り入れてきた経験から、思いを広げるための用具はアイデア次第で数多く用意できることを実感した。特別な場の設定や高価な材料では、毎週行う授業でなかなか取り入れることができない。だからこそ身近にある素材に注目して活用の仕方を工夫することで、表現の多様性を引き出したいと考えた。

自分の思いに合わせて「自己決定」しながら表現活動ができれば、作品に「自分らしさ」が増えていき、完成した作品は紛れもなく世界でたった一つだけの「自分だけの作品」になるだろう。表現活動中の「材料・用具との関わり」を大切にするのはもちろんのこと、自分がどう表現したいのかをじっくりと考える「自分自身との関わり」や、互いに影響を受けながら活動する「友だちとの関わり」を学習の柱としながら、一人ひとりの作品への思いをより一層深めさせていきたい。そして、「自分らしさ」を表すための多様な表現を用いながら、生き生きと造形活動にとりくませていきたいと考え、本研究の主題を設定した。

#### 3 研究仮説

##### 【仮説1】

様々な用具を使った技法を体験することで、多様な表現が身に付き、思いを表すための表現が深まるだろう。

手立て① 様々な用具を使った技法を体験する時間を十分に確保することで、自分の思いを表現できるようにする。

手立て② ストローやスポンジなどの用具では、素材や長さの違うものを多数用意し、自分の思いに合わせて選んだりはさみなどで加工したりできるようにすることで、自分の思いに近付けられるようにする。

手立て③ 「活動の流れ」や「鑑賞の仕方」などの掲示物を作成し、活動の内容や目的を明確にすることで、児童が見通しをもって意欲的に表現活動を行えるようにする。また、教員が用意する掲示物をシンプルな模様にとどめ、児童自らが模様のつけ方を工夫したり、用具の使い方を発見したりできるようにする。

## 【仮説2】

児童どうしの学び合いの場を意図的に設定することで、互いの表現のよさを交流し合い、自分らしい多様な表現を引き出すことができるだろう。

手立て① 活動中に「ミニ鑑賞会」（互いの作品を自由に見合う時間）を設定し、自分の作品づくりに生かしたり、興味がわいた表現方法を友だちに教わったりできるようにする。

手立て② アイデア広場・用具コーナー・リサイクルコーナーなど、活動ごとに場の設定をすることで、互いに表現のよさを交流しながら自分らしい表現を見つけることができるようにする。

## 4 研究の実践

(1) 題材名 絵の具で遊んで「自分いろがみ」（4学年）

(2) 題材観

本題材は、学習指導要領の以下の内容を受けて設定したものである。

### A 表現

(2) 表現の活動を通して、技能に関する次の事項を身に付けることができるようにする。

イ 絵や立体、工作に表す活動を通して、材料や用具を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表すこと。

### B 鑑賞

(1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。

ア 身近にある作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品や身近な美術作品、製作の過程などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げること。

### 共通事項

(1) 「A 表現」及び「B 鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かること。

イ 形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつこと。

本題材は、身近にあるさまざまな用具を用いて偶然できた模様や色の組み合わせなどを楽しみながら、自分の発想を実現するための表現方法を思いつく力を培うことをねらいとしている。

思いもよらない線や模様が画用紙いっぱいに広がることで、「自分いろがみ」は比較的容易に出来上がる。より自分らしい表現を引き出していくためには、さまざまな方法を試す時間を十分に確保することが必要であると考え。用具を手にして試し、表現の方法を知る。今度は違う方法を思いつき、また試す。この、「思いつき、試す」ことを繰り返すことで、一人ひとりの活用できる技法の幅を広げ、自分の思いを表すための表現を深めさせていきたい。

また、活動中に毎時間鑑賞の時間を取り入れる。表現方法や各自のアイデアを友だちどうしで交流することで、互いの作品のよさに気付きながら自分らしい表現方法を見つけ、思いを広げることができるようにさせていきたい。

本題材では、学習中のさまざまな活動の中で「自分で選んで、自分で決める」場面を設定する。用具や画用紙選び、作品の切り取り、額縁の作成など「自己決定」の場面を取り入れることで、「自分だけの作品をつくっている」ということに自信をもちながら活動させたい。そして、「思いつき、試す」「交流し、広げる」「選んで、決める」活動を、さまざまなものや人との関わりを通して丁寧に繰り返すことで、研究主題の「自分らしい多様な表現を引き出す」ことにつなげていきたいと考え、本題材を設定した。

(3) 児童の実態 (4学年 男子13名 女子14名 計27名)

質問内容	回答
1 図工の学習は好きですか。	好き・・・63% どちらかというが好き・・・30% どちらかというが好きではない・・・7% 好きではない・・・0%
2 絵をかくことについて (1) 何かを見て絵をかくことは好きですか。	好き・・・56% どちらかというが好き・・・30% 理由：見てかく方がわかりやすい。 手本がある方がかきやすい。 どちらかというが好きではない・・・11% 好きではない・・・3% 理由：真似をするのが苦手だから。 うまくかけないといやになる。
(2) 想像して絵をかくことは好きですか。	好き・・・63% どちらかというが好き・・・7% 理由：難しいけれど、自分の好きにかける。 自分だけのものがかける。 どちらかというが好きではない・・・15% 好きではない・・・15% 理由：想像できない。 何をかいたらよいかわからない。 自信がない。
3 絵の具で絵をかく用具について (1) 1～3年生のとき、筆以外で絵をかいたことはありましたか。	ある・・・74% ない・・・26%
(2) それはどんな用具でしたか。 ※「ある」と答えた人のみ	・キャップのふた ・スポンジ ・トイレットペーパーの芯

本学級の児童は、活気がありさまざまな活動に意欲的にとりくむことができる。係活動中や休み時間などでも、製作活動を好んで行う児童が多く、学級に常備してある画用紙やサインペンなどを利用して、日頃から友だちと協力していろいろなものをつくっている。

実態調査の結果から、図画工作科の学習を「好き・どちらかという好き」と答えた児童は、全体の約93%と高かった。一方で、「どちらかという好きではない」と答えた児童が約7%いた。

絵をかくことについての質問に対しては、「何かを見て絵をかくこと」が約86%、「想像して絵をかくこと」が約70%の児童が「好き・どちらかという好き」と答えていた。絵をかくことに対して比較的興味関心が高いと言える。一方で、絵をかくことはあまり好きではないと答えている児童もいる。そういった児童は、普段の様子やアンケートの記述から見ても「自分のかく絵に自信がもてない」「うまく表現できない＝失敗」という意識が強くあるように思う。

筆以外の用具を用いて絵をかいたことがあるかの質問に対しては、「ある」と答えた児童が74%だったものの、さまざまな技法を用いたり、自分で自由に用具を選択して活動にとりくんだりした経験は少ないことがわかった。

今回の実践は、写実的な絵画をかく内容ではなく、偶然できた模様や色の組み合わせを楽しみながら作品をつくるものであるため、誰もが心を開放しやすい題材である。図画工作科の学習を「好き・どちらかという好き」と答えている児童の意欲をさらに高められるようにするとともに、苦手意識をもっている児童も自分なりにアイデアが浮かぶような手立てをとっていききたい。本題材の中で身近にあるさまざまな用具に触れて、自分なりに活用していくことで、児童一人ひとりが生き生きと自信をもって自分らしい表現活動を行えるようにしていきたい。

#### (4) 指導観

本題材では、導入で身近にあるさまざまな用具（ビー玉・ストロー・歯ブラシ・スポンジなど）を用いた絵の具遊びを行う。一人ひとりがそれぞれの用具と触れ合う時間を十分に確保し、用具の使い方によって偶然できた模様や形、線などを思う存分楽しめるようにさせたい。また、教員が用意する掲示物はできるだけシンプルな模様にとどめる。さまざまな表現方法を試す中で、児童自らが模様のつけ方を工夫したり、用具の使い方を発見したりできるようにしていきたい。

「思いつき、試す」活動が充実するために、出来上がりのよさを気にしすぎずに気軽に何枚も試せるようにコピー用紙を数多く用意する。また、活動動線がスムーズになるように活動場所や用具を置く場所を配置することで、児童が夢中になって表現活動に没頭できる環境を整える。他にも、同じ用具でも質感や長さの異なるものを多数用意し、試しながら自分の表現にあう形を選んだり、加工したりできるようにして自分の思いを広げさせたい。

活動途中には、互いのつくり途中の作品を自由に見合う時間を「ミニ鑑賞会」として設定する。互いの表現のよさを交流し合う中で、友だちのアイデアを自分の作品づくりに生かしたり、興味のわいた模様のつくり方を教え合ったりできるようにしたい。また、導入時に試した作品を「自分いろいろアイデア集」として各自でまとめ、「アイデア広場」に並

べておくことで、いつでも見て学び合えるようにする。「用具コーナー」や「リサイクルコーナー」の設置についても、単に材料の置き場としてだけではなく、それぞれが互いの活動を自然に見たり、よさを交流したりする鑑賞活動の場として大切にしたい。自分らしい表現方法を見つけるために、一緒に活動する児童どうしが互いにより影響を受けながら作品をつくることを肯定していきたい。

作品づくりの仕上げには、四つ切サイズで作成した「自分いろがみ」の模様の中から、特に気に入った模様を切り取る活動を行う。また、思いに合わせた額縁づくりも丁寧にやっていきたい。

このような活動を通して、同じ用具・同じ材料を用いても同じ作品は一つもないことを体感させ、一人ひとりの「自分らしさ」を感じながら多様な表現活動を行えるようにさせていきたい。

#### (5) 題材の目標

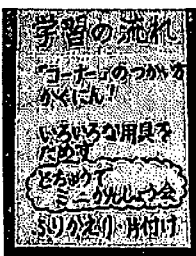


- ・いろいろな用具を使って、絵の具のさまざまな表現効果や用具の可能性に関心を持ち、表現を楽しもうとしている。 (造形への関心・意欲・態度)
- ・さまざまな表現効果のおもしろさや美しさを味わい、それをもとに発想を広げることができる。 (発想や構想の能力)
- ・筆以外の用具の扱いに慣れ親しみながら工夫することができる。 (創造的な技能)
- ・互いの表し方のよさやおもしろさを味わうことができる。 (鑑賞の能力)
- ・絵の具遊びを通して、形や色の組み合わせをとらえ、自分の表したいイメージをもつ。 [共通事項]

#### (6) 指導計画 (7時間扱い)

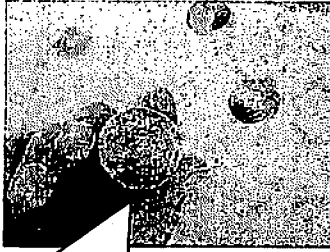
時配	主な学習活動	評価基準
2	○さまざまな表現方法を知り、用具を用いて試す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな用具を使って、絵の具のさまざまな表現効果や用具の可能性に関心を持ち、表現を楽しもうとしている。 (関・意・態)【発言・行動】</li> <li>・筆以外の用具の扱いに慣れ親しみながら工夫することができる。(創)【行動観察・表現】</li> <li>・互いの表し方のよさやおもしろさに気付き、認め合っている。(鑑)【発言・表現】</li> </ul>
2	○やってみたい表現方法を選び、「自分いろがみ」をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな表現効果のおもしろさや美しさを味わい、それをもとに発想を広げることができる。(発)【表現】</li> <li>・筆以外の用具の扱いに慣れ親しみながら工夫することができる。(創)【行動観察・表現】</li> <li>・互いの表し方のよさやおもしろさに気付き、認め合っている。(鑑)【発言・表現】</li> </ul>

2	○つくった「自分いろがみ」の気に入ったところを切り取る。 ○オリジナル額縁をつくる。	・さまざまな表現効果のおもしろさや美しさを味わい、それをもとに発想を広げることができる。 (発)【表現】 ・互いの表し方のよさやおもしろさに気付き、認め合っている。 (鑑)【発言・表現】
1	○友だちの作品を鑑賞し、よさやおもしろさ、表現の工夫を認め合う。	・互いの表し方、作品のよさや工夫に気付き、認め合っている。(鑑)【発表・鑑賞カード】

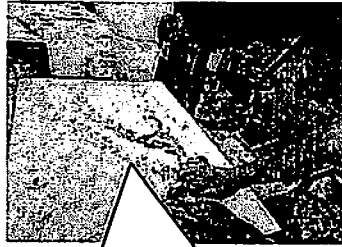
(7) 児童の学習活動

時配	主な学習活動	・支援	資料
2	<p><b>さまざまな表現方法を知り、用具を用いて試す。</b></p>  <p>【筆以外の用具】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビー玉 (大・小)</li> <li>・ストロー (長・短・太・細)</li> <li>・スポンジ (2種類)</li> <li>・ペットボトルのふた</li> <li>・手作り筆</li> <li>・歯ブラシ・網お玉</li> </ul> <p>【筆を用いた表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・にじませる技法</li> <li>・たらず技法</li> </ul> <p>【絵の具のみを用いた表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・画用紙片面に直接チューブから色を付ける。 →閉じてから開く。</li> </ul> 	<p>・「学習の流れ」の掲示物を作成し、活動の内容に見通しをもたせる。 (仮説1 手立て③)</p> <p>・表現の見本となる掲示物はシンプルな模様にとどめ、児童自らが模様の付け方を工夫したり、用具の使い方を発見したりできるようにする。 (仮説1 手立て③)</p> <p>・コピー用紙を用意し、思いついた方法を気軽に試せるようにする。</p> <p>・児童がスムーズに動けるような活動動線を工夫し、乾燥棚とコピー用紙置き場を配置する。 (仮説2 手立て②)</p> <p>・用具の用い方で工夫がみられる児童の表現方法を随時紹介し、全体で共有する。</p> <p>・掲示物を用いて「ミニ鑑賞会」での活動内容を確認させることで、目的を明確にして活動できるようにする。 (仮説1 手立て③)</p> <p>・活動途中に「ミニ鑑賞会」を設定し、自分の作品づくりに生かしたり、興味がわいた表現方法を友だちに教わったりできるようにする。 (仮説2 手立て①)</p>	<p>・掲示物</p>  <p>・コピー用紙</p> <p>・乾燥棚</p> <p>・用具 コーナー</p> <p>・掲示物</p>

### 児童のアイデア① スポンジ

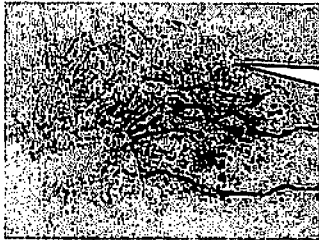


スポンジに3色の色をつけてから押したよ



発泡スチロールをコロコロ転がしてみたら…

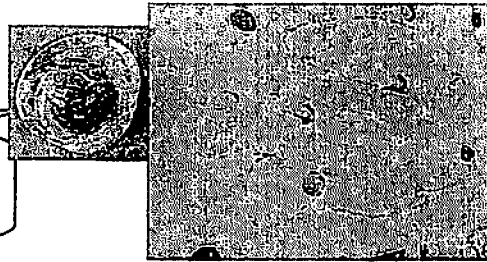
### 児童のアイデア② ストロー



2色の絵の具を画用紙につけてから一気に吹いたよ

### 児童のアイデア③ ビー玉

キャップにビー玉を入れて転がしてみたら…

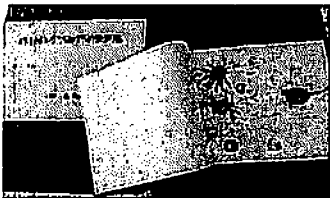


### 児童のアイデア④ 歯ブラシ

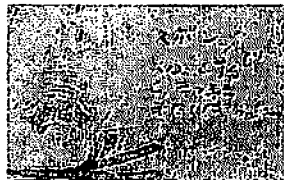


手ではじいた方が、絵の具がよくとぶよ！

・試した紙を「自分いろがみアイデア集」として各自でまとめる。



・気に入った技法や自分なりのアイデアなどを付箋紙に記入してアイデア集に貼ることで、活動の振り返りをさせる。

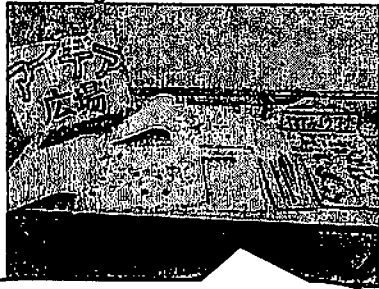


・自分いろがみアイデア集

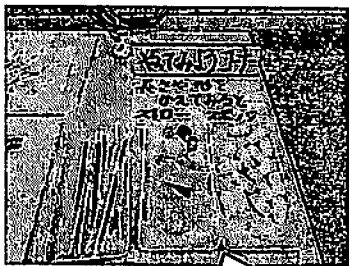


やってみたい表現方法を選び、「自分いろいろがみ」をつくる。

【アイデア広場】  
活動中、いつでも見に来てよい場所



自分や友達の「自分いろいろがみアイデア集」を参考に、作品づくりをしたよ



どんな形のスポンジにしようかな

ストローの長さは・・・  
太さは・・・

【用具コーナー】  
※試したときと同様の用具を用意



・前時にまとめた「自分いろいろがみアイデア集」を「アイデア広場」に置き、作品づくりの参考にさせる。

(仮説2 手立て②)

・ストローやスポンジなどの用具では、質感や長さの違うものを多数用意し、自分なりに選んだり加工したりできるようにする。

(仮説1 手立て②)

※ストローは、吹くことに夢中になると酸欠になることがあるので気を付けさせる。

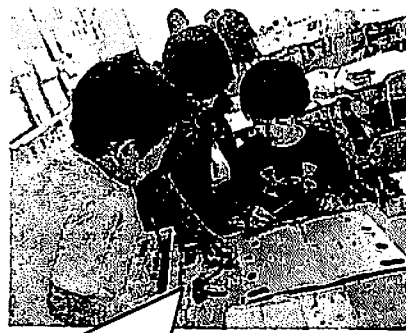
※足元にしまう道具・バケツの置き場所などの約束を徹底し、整頓された環境で活動できるようにする。

・それぞれの技法で用いる用具を並べた「用具コーナー」を設置し、互いの活動を見合いながら取り入れたい技法を自由に選択して模様をつくっていけるようにする。

(仮説2 手立て②)

・数種類の色画用紙を用意し、自由に選べるようにする。

・活動途中に「ミニ鑑賞会」を設定し、自分の作品づくりに生かしたり、興味がわいた表現方法を友だちに教わったりできるようにする。(仮説2 手立て①)



こんなふうに手を動かすと  
おもしろい模様になるよ!

・アイデア広場

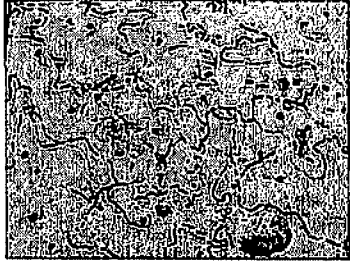



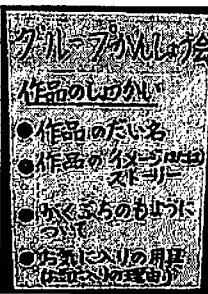
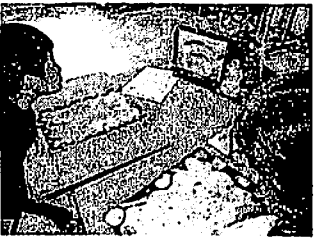
・やってみようコーナー

・用具コーナー

・4切画用紙

・8切色画用紙

・掲示物

<p>2</p>	<p><b>つくった「自分いろいろがみ」の気に入ったところを切り取る。</b></p>  <p><b>オリジナル額縁をつくる。</b> 【リサイクルコーナー】</p>  	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色段ボール紙でつくったフレームを用意し、作品の上に置かせることで、自分の作品の気に入ったところを明確にできるようにする。</li> </ul>  <p>ここの模様が お気に入り！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「リサイクルコーナー」を設け、互いの「自分いろいろがみ」や使い途中の色画用紙などを再利用できるようにする。(仮説2 手立て②)</li> <li>・活動中に「ミニ鑑賞会」を設定し、自分の作品づくりに生かしたり、まねしたい表現方法を友だちに教わったりできるようにする。 (仮説2 手立て①)</li> <li>・額縁の色を選んだり、額縁の形を考えたりして、自分の思いや表現したいことを作品に表せるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フレーム</li> <li>・リサイクルコーナー</li> </ul>
<p>1</p>	<p><b>友達の作品を鑑賞し、よさやおもしろさ、表現の工夫を認め合う。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ鑑賞会</li> </ul>  	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとの鑑賞会では、伝え合うポイント（気に入った用具やアイデア、作品のイメージなど）を示し、自分らしい表現について具体的な言葉で話し合えるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>グループ鑑賞会の流れ</b>          作品紹介タイム(1分間)          感想タイム(1分間)          質問タイム(1分間)</p> <p><b>1人につき3分間×グループの人数</b>          ※本学級では3人グループで行った。          →全員が終了したらメンバーチェンジ</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話す内容と時間を決めて取り組むことで、鑑賞の内容を充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞のポイント掲示</li> <li>・振り返りカード</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体鑑賞会 (4年1組美術館)</li> <li>・振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の鑑賞会では、友だちの作品ですてきだと思った技法や模様を各自の鑑賞カードに書けるようにする。</li> <li>・友だちの作品のよさについて発表し合うことで、互いの工夫や表現の仕方について認め合えるようにする。</li> <li>・今回の学習を振り返り、いろいろな用具を使って模様をつくった感想や自分(または友だち)が発見した技法について発表し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞カード</li> </ul>
--	---	--	--

## 5 成果と課題

### (1) 仮説1について

#### 〈成果〉

- ・試す時間を十分に確保し、さまざまな表現技法を体験したことで、多様な表現方法を知り作品に生かすことができた。
- ・長さや太さの違うストローや形を変えられるスポンジなどを用意したことで、自分なりに用具を加工したり選択したりして表現の幅を広げることができた。
- ・活動の見通しがもてるような掲示物を作成して提示したことで、どの児童も意欲を持続させて活動にとりくむことができた。

#### 〈課題〉

- ・今回は、「自分いろがみ」を作品として仕上げたが、作成した「自分いろがみ」を活用して主人公をつくったり、さらには物語をつくったりする活動も考えられる。次回同題材を行う際は「考えを広げる」活動もとり入れていきたい。
- ・額縁を作る際、気に入った模様の箇所を皆同じ大きさのフレームをもとに切り抜いた。切り抜く形や大きさを自由に選ぶことができれば、児童の思いや工夫も、さらに表現されたと考える。

### (2) 仮説2について

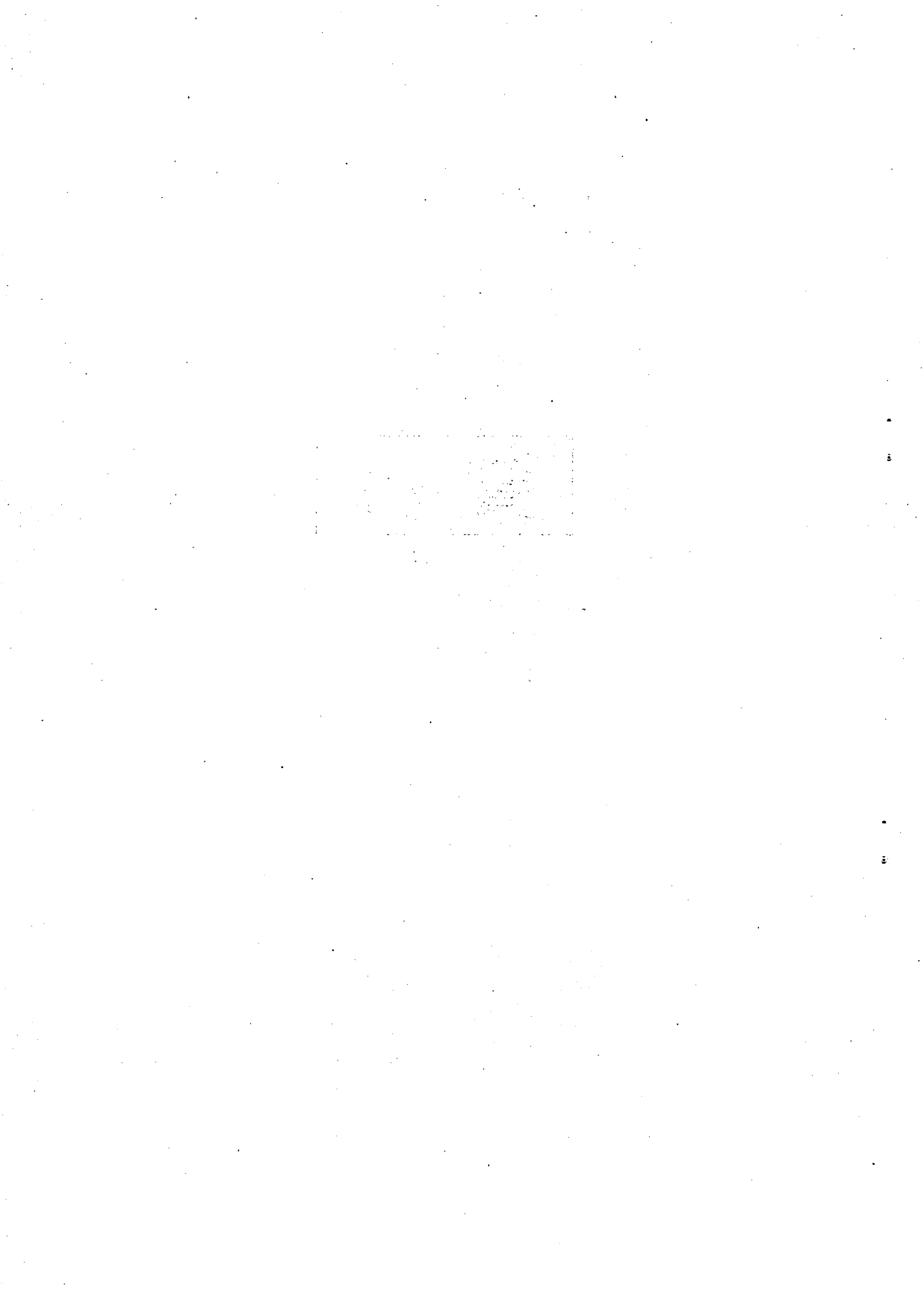
#### 〈成果〉

- ・導入の際に試した紙を「自分いろがみアイデア集」としてまとめ、アイデア広場に並べたことで、実際に「自分いろがみ」をつくる活動中も模様づくりの参考にすることができた。
- ・鑑賞の時間を毎時間ごとに設定して見合ったことで、友達表現のよさに気付いて用具の使い方を進んで教え合ったり、自分らしい表現を追求したりすることができた。

#### 〈課題〉

- ・用具コーナーの中に自由に使える紙を用意してすぐに用具を試せるような環境を整え、互いに表現のよさを交流する場面を増やしたい。

# 資料



# 資料

## 児童Aの活動の様子

児童Aのアンケート結果

- ・図工の学習→好き
- ・何かを見て絵をかくこと・想像して絵をかくこと→どちらも好き

### ①用具との出会い

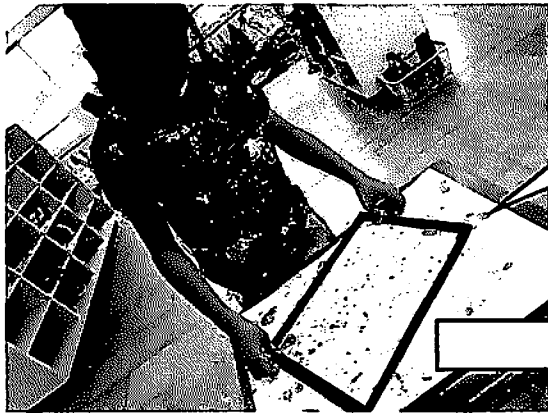


気に入った用具：手作り筆

お気に入りの用具（手作り筆）

理由 手作り筆で、やると風みたいにかける  
ほわほわとあわせてつらうと雨と風の天気になるから  
この筆でをつくりました。

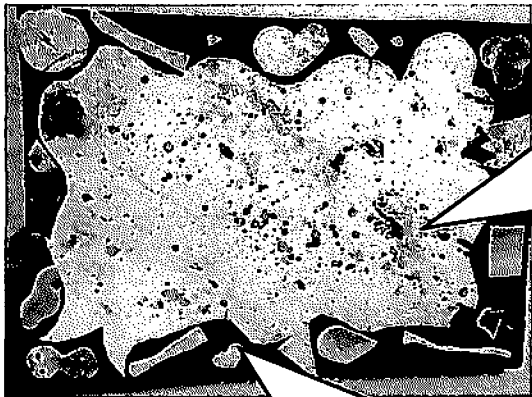
### ②お気に入りの模様（切り取った箇所）



いろいろな色や模様があるから  
この場所を切ろうと思った。



### ③出来上がった作品



作品の題名

おれち時札



作品のストーリーやイメージ

雨降のころいろいろな音がきこえてとてもきれい  
になりました。おれちの時札は、あちこちにとん  
とんまると風がグンスをして、雨がうたっているけ  
いです。

かくぶちをこのもようや色にした理由

おれちの時札は、あちこちにとん  
とんまると風がグンスをして、雨がうたっているけ  
いです。



**児童 C の活動の様子**

児童 C のアンケート結果

- ・ 図工の学習 → どちらかというと好き
- ・ 想像して絵をかくこと → 好きではない (想像ができない)

① 用具との出会い

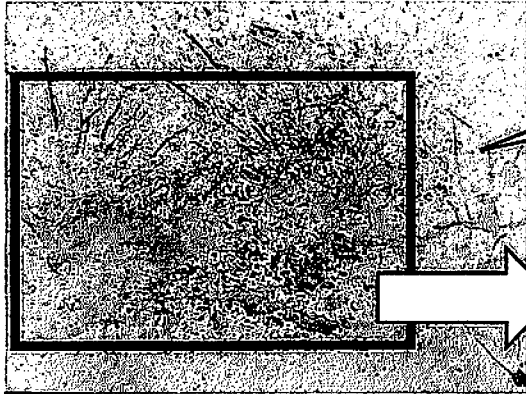


気に入った用具：ストロー、歯ブラシ

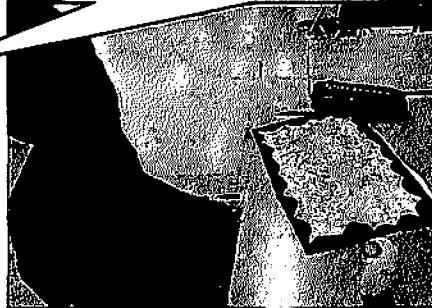
お気に入りの用具 (ぼろぼろストロー)

理由 つぶつぶするの感じが好きになった。  
 ストローは 7-7-7 とやるのと人との  
 の感じが全然好きになった。

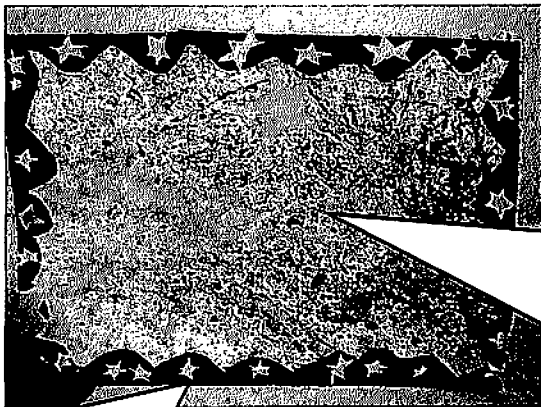
② お気に入りの模様 (切り取った箇所)



ストローでつくった模様を残したくて  
 この場所を選ぼうと思った。



③ 出来上がった作品



作品の題名

ストローのぼろぼろの家



作品のストーリーやイメージ

ぼろのイメージ、星のイメージ。  
 自由にけろろしをつぶつぶしていたら楽しく  
 なってきてしらはうつくしくつづいていけたらいいかな  
 とさか

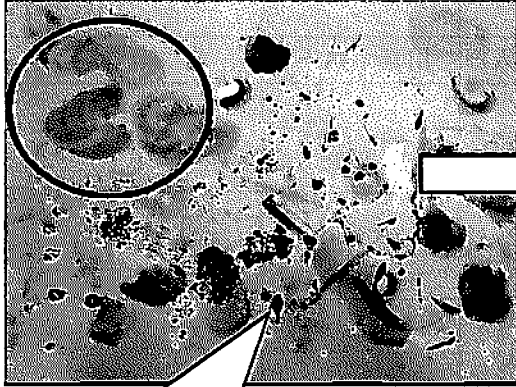
がくぶちをこのもようや色にした理由

ぼろのイメージ、星のイメージ。  
 自由にけろろしをつぶつぶしていたら楽しく  
 なってきてしらはうつくしくつづいていけたらいいかな  
 とさか



表現のよさの交流から生まれた作品

①

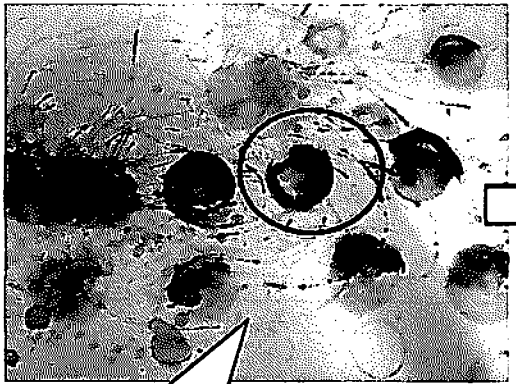


3 友達に教わったこと・友達の作品を見て自分もやってみたこと

- さんに△△を教えてもらった。
- さんの「丁」を見ていいなと思って自分もやってみた。 などー

さんのえいスタンプをやっていたもの  
をみて「すごい！私もやってみよう」と思ったので直せ  
ずに書いて自分もやってみました。すごく  
上手にできたのが「えい」と思  
いました。

②

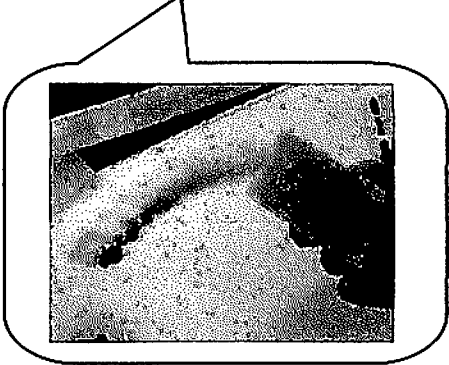
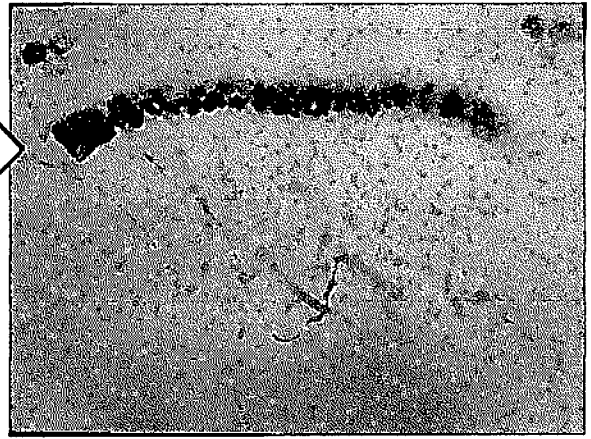
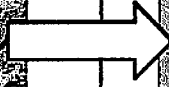
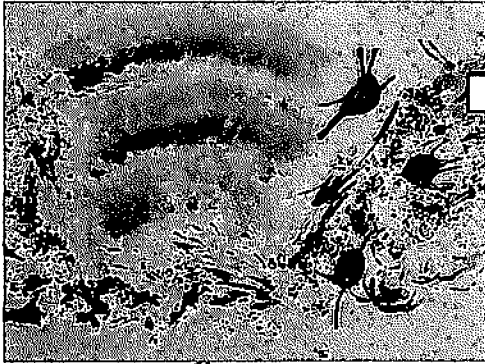


3 友達に教わったこと・友達の作品を見て自分もやってみたこと

- さんに△△を教えてもらった。
- さんの「丁」を見ていいなと思って自分もやってみた。 などー

さんのえいスタンプも、作ったものが  
たくさんできて自分もやりました。

③



3 友達に教わったこと・友達の仕事を見て自分もやってみたこと

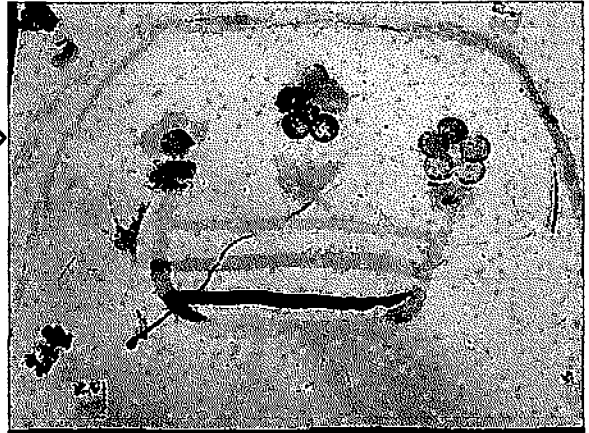
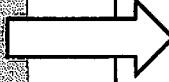
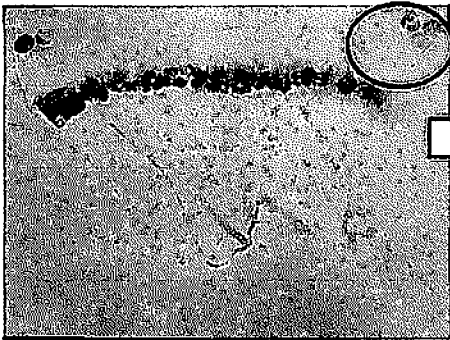
※〇〇さんに△△を教えてもらった。

※〇〇さんの□□を見ていいなと思って自分もやってみた。 など…



こののじがきれた、だから自分もやってみた。

④



3 友達に教わったこと・友達の仕事を見て自分もやってみたこと

※〇〇さんに△△を教えてもらった。

※〇〇さんの□□を見ていいなと思って自分もやってみた。 など…



絵の具のシート　大人が塗りたくって  
いたけれど、自分はきれいな花を描く  
ように思いました。